



# ものづくり広報

## 新社長紹介：有限会社旭製作所

社長は大学を卒業後、亀山市にある企業に事務職員として就職しましたが、数年後、先代社長より会社を手伝ってほしいと頼まれ、悩んだ末に旭製作所に入社しました。入社後、一から溶接の仕事を覚えたとのことで、溶接の機械は右利き用しかなく左利きの社長は苦勞したと話してくれました。

趣味は20歳の頃から約20年間続けている空手で、先代社長とともに週1回小学生に空手を教えているとのことです。

社長になって変わったことについて伺うと、従業員を守らなければならないというプレッシャーや責任感が出てきた点と話し方や外での振舞いについて、気をつけるようになったことを挙げていただきました。今年の1月から社長業を引き継いでおり、今は会社の現状把握・現状維持に努めているとのことです。

先代社長から、「従業員あっての会社だから従業員を大切にしよう」と教えられていると誠実に話してくれました。空手を小学生に教えるときや新入社員に指導する際は、同じ目線で教えるようにしていると話す社長の姿から、従業員への温かい想いが伝わってきました。

代表取締役社長 山尾 智紀



住所 鈴鹿市住吉町字東石ノ森6729-6

TEL 059-378-7592

FAX 059-378-7594

業務内容：溶接業

## 平成30年度 マネジメント研修受講者を募集します

対象 市内中小製造企業の管理職の方（全4回の研修に参加できる方）

とき 10月10日（水）、17日（水）、24日（水）、11月7日（水）9時～16時30分（最終日は15時まで）

ところ ものづくり産業支援センター会議室（市役所別館第3 2階）

定員 8人（先着順） 参加料 無料

内容 日常管理（トラブルの未然防止）と方針管理（重点目標の設定、主要施策の立案）のノウハウの習得、グループ活動、他企業訪問など

申込み 9月21日（金）までに、産業政策課ものづくり産業支援センターへ



▲昨年のマネジメント研修の様子

## 平成30年度 後期の「選択講座研修」受講者を募集します

対象 現場のリーダークラスを対象にした研修です。

とき **安全**：11月6日、13日 **品質**：11月20日、27日、12月4日、11日、  
**生産**：12月18日、25日、1月8日 **製造**：1月15日、22日、29日、  
2月5日

※1日に2回、すべて火曜日に実施します。

※午前：9時30分～11時30分 午後：13時30分～15時30分

ところ ものづくり産業支援センター会議室（市役所別館第3 2階）

定員 各講座5人（先着順）

内容 「職場の不安全箇所と不安全作業をなくそう」、「再発防止の取組み」、「品質を守る仕組みと改善の進め方」、「中小企業における生産管理について」、「突発受注品の対応方法」、「人の環／連携プレイのとり方」、「工程で品質をつくりこむ」、「不良を出さない仕掛け」、「再発防止の確実なやり方」など

申込み 産業政策課ものづくり産業支援センターへお問い合わせください。

# 支援活動事例紹介：会計帳簿作成のプロセスと経営分析の仕方

有限会社OFFICE ZPI 業務内容：釣具の製造販売

## 支援内容

OFFICE ZPIより、決算書がどのような過程で作られているのかを詳しく知りたいとの支援依頼があり、下記の内容で支援を実施しました。

支援の前半では決算書作成までのプロセスを明示し、理解していただきました。また、ご自身の理解度を高めるために取引内容と仕訳帳を基に総勘定元帳、貸借対照表、損益計算書作成までの演習問題を行いました。

支援の後半では「資金繰りのたて方」、「お金の支出を目的分類と形態分類に分けるその意義について」、「貸借対照表の分析から財産状態の良し悪しの見方」、「損益計算書の分析の仕方」等、事業活動の成果としてのお金の効率の見方を学んでいただきました。また、最後に会社の決算書を用いて経営分析を行いました。

## 企業様からの声

経営に必要な損益計算書や貸借対照表の見方などを基本から教えていただきました。今まで分かっていなかった部分や数字の大切さとそれぞれの意味合いなど非常に具体的かつ分かりやすく説明していただきました。経理担当者にも一緒に聞いてもらい、普段から目にしている数字は経営として見たときにどのような意味を持っているのかなど理解することができました。

## 平成30年度「鈴鹿市ものづくり企業交流会」を開催します

市では、市内中小製造企業が有する優れた技術や製品について展示PRすることで、企業同士の交流や親睦を深め、併せてマッチングの機会を創出することを目的に、「鈴鹿市ものづくり企業交流会」を開催します。9回目を迎える今回も鈴鹿ハンターを会場とすることで、企業関係者だけではなく、広く市民の皆様にもPRを図ります。

日時 平成31年1月20日(日) 10時～16時

ところ 鈴鹿ハンターショッピングセンター1階センターコート、サブコート、2階特設大催事場

主な内容 **○企業展示会** 自社の「強み」を広く発信することで、鈴鹿のものづくりの「魅力」をアピールします。25社募集予定



▲過去の企業展示会の様子

**○第6回すずか輪ゴムグランプリ** 輪ゴムのみでの動力を利用した自作の車により走行距離を競うことで、自社の技術や開発力をPRし、参加企業同士の交流や親睦を深めます。また、鈴鹿少年少女発明クラブで活動する小学生が、1年間の活動の集大成として自作の車を持ち寄り輪ゴムグランプリに参加します。市内の製造企業の展示や輪ゴムグランプリにおける技術者の技術力を見ることで、将来のものづくり人材の育成にもつなげます。

## 「鈴鹿市商談会等出展支援事業補助金」交付対象者を募集します

蓄積された技術や経験を生かした新たな事業展開、新規取引先、事業提携先などの販路開拓を促進することを目的に、市内の中小製造業者および中小企業団体などが、国内外における商談会などへの出展に要する経費の一部について補助金を交付します。

◆**対象** 市内に本社または主たる事業所を有する中小製造企業者および中小企業団体などで、補助対象者が、国内外における商談会など（一般消費者に対し直接に販売することを主な目的とするものおよび本市が主催、共催をするものを除く）に出展する事業

◆**補助金額** 補助対象経費の2分の1以内の額。ただし、限度額は10万円

◆**申込み** 申請書に必要事項を記入の上、直接、産業政策課ものづくり産業支援センター（別館第3 2階）へ持参